

議会だより

8月



議会カフェ(食KING市開催時)7月6日森町地域活性化広場にて

【森町議会4月会議】

- ✿ 補正予算・財産の取得・条例等について審議 2P

【森町議会6月会議】

- ✿ 専決処分・補正予算・財産の取得・工事請負契約の締結・意見書・条例等を審議 3P
- ✿ 町政のココが聞きたい 7議員が一般質問 6P

【森町議会6月第2回会議】

- ✿ 補正予算等について審議 12P

■発行／北海道森町議会

■編集／広報広聴常任委員会小委員会

森町議会ホームページアドレス <https://www.town.hokkaido-mori.lg.jp/bunya/gikai/>〒049-2393 北海道茅部郡森町字御幸町144-1 ☎01374-2-2185 E-Mail gikai@town.hokkaido-mori.lg.jp▲森町議会
公式ホームページ▲森町議会
YouTubeチャンネル

令和7年
第1回森町議会

4月会議

4月会議が、4月30日に行われました。
決まった主なものは次のとおりです。

承認

◆専決処分した事件の承認

半島振興対策実施地域における固定資産税の不均一課税に関する条例の一部を改正する条例 **承認**

半島振興対策実施地域における固定資産税の不均一課税に関する条例（平成18年条例第49号）の第3条第1号及び附則第2項中について、地方自治法第179条第1項の規定により専決処分したことについて、議会の承認を求めるものです。

◆令和7年度森町一般会計補正予算（第1号） **承認**

令和7年度森町一般会計予算中の農業費に係る補正予算について、地方自治法第179条第1項の規定により専決処分したことについて、議会の承認を求めるものです。

条例（原案可決）

◆森町税条例の一部を改正する条例制定について

補正

◆令和7年度各会計補正予算

会計別	補正額	総額	議決の内容
一般会計(第2号)	2,926万2千円	143億7,243万9千円	原案可決

その他

◆財産の取得について

森町地域公共交通運行用車両 1台

契約者：函館三菱ふそう自動車販売株式会社 契約金額：11,856,920円 **原案可決**

スクールバス 1台

契約者：函館三菱ふそう自動車販売株式会社 契約金額：9,914,883円 **原案可決**

食器食缶洗浄機 1台

契約者：日本調理機株式会社北海道支店 契約金額：22,770,000円 **原案可決**

<<<令和7年第1回森町議会4月会議において反対のあった議案はありませんでした。>>>

令和7年
第1回森町議会

6月会議

6月会議が、6月12日から13日までの日程で行われました。決まった主なものは次のとおりです。

条 例 (原案可決)

- ◆森町職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例制定について
- ◆森町職員の育児休業等に関する条例及び森町企業職員の給与の種類及び基準に関する条例の一部を改正する条例制定について
- ◆森町非常勤職員の報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例制定について
- ◆森町都市計画審議会条例の一部を改正する条例制定について
- ◆森町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例制定について
- ◆森町家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例制定について
- ◆町長等の給与の特例に関する条例制定について

補 正

◆令和7年度各会計補正予算

会計別	補正額	総 額	議決の内容
一般会計(第3号)	8億9,145万4千円	152億6,389万3千円	原案可決
国民健康保険特別会計(第1号)	377万9千円	24億4,208万6千円	原案可決
介護保険事業特別会計(第1号)	292万5千円	22億776万5千円	原案可決
介護サービス事業特別会計(第1号)	▲37万8千円	2億8,342万5千円	原案可決
ホタテ未利用資源リサイクル事業 特別会計(第1号)	12万円	1億1,816万5千円	原案可決
国民健康保険病院事業会計(第1号)	46万3千円	12億5,757万9千円	原案可決

《主な事業》

●定額減税不足額給付金事業 (8,465万円)

令和6年度に実施した所得税及び住民税の定額減税において、令和6年分の所得金額が確定した後の再計算の結果、減税しきれなかった方に対し、追加で調整給付金を支給することを目的とするものです。

報 告

◆令和6年度森町一般会計繰越明許費繰越計算書の報告について

令和6年度森町一般会計繰越明許費に係る歳出予算の翌年度への繰り越しについて、議会に報告するものです。

◆専決処分した事件の報告

各会計予算における事務事業の執行精査により増減補正をしたものです。

令和6年度森町一般会計補正予算（第14号）

令和6年度森町国民健康保険特別会計補正予算（第6号）

令和6年度森町後期高齢者医療特別会計補正予算（第5号）

令和6年度森町介護保険事業特別会計補正予算（第6号）

令和6年度森町介護サービス事業特別会計補正予算（第6号）

令和6年度森町港湾整備事業特別会計補正予算（第1号）

令和6年度森町ホタテ未利用資源リサイクル事業特別会計補正予算（第5号）

令和6年度森町国民健康保険病院事業会計補正予算（第5号）

その他

◆工事請負契約の締結について

各小中学校冷房設備設置工事（機械設備）

契約者：昭栄・マルヤ特定建設工事共同企業体 契約金額：275,000,000円

（代表者）昭栄設備工業株式会社

原案
可決

各小中学校冷房設備設置工事（電気設備）

契約者：谷・高瀬・川村特定建設工事共同企業体 契約金額：150,370,000円

（代表者）株式会社谷電気工業所

原案
可決

◆財産の取得について

非常用備蓄品 防災毛布 1,500枚

契約者：株式会社近藤商会 契約金額：7,921,980円

原案
可決

間仕切りパーテーション 270張

契約者：株式会社コクアLCサービス 契約金額：5,340,060円

原案
可決

防災倉庫 4棟

契約者：株式会社コクアLCサービス 契約金額：10,010,000円

原案
可決

小型動力ポンプ付水槽車Ⅱ型 1台

契約者：株式会社北海道モリタ 契約金額：83,600,000円

原案
可決

意見書

◆ゼロカーボン北海道の実現に資する森林・林業・木材産業施策の充実・強化を求める意見書……………（賛成12：反対0）

◆安定的な地域医療の確保に向け公立病院等への財政支援を求める意見書……………（賛成12：反対0）

◆令和7年度北海道最低賃金改正等に関する意見書……………（賛成12：反対0）

◆地方財政の充実・強化に関する意見書……………（賛成12：反対0）

◆義務教育費国庫負担制度堅持・負担率1／2への復元など教育予算拡充とゆたかな学びを求める意見書……………（賛成12：反対0）

◆道教委「これからの高校づくりに関する指針」（改定版）を見直しすべての子どもにゆたかな学びを保障する高校教育を求める意見書……………（賛成12：反対0）

◆国民健康保険財政への国庫負担の増額を求める意見書……………（賛成11：反対1）

◆将来にわたり安全安心な医療・介護制度の提供を求める意見書（賛成12：反対0）

令和7年第1回森町議会6月会議 賛否一覧

(反対のあった議案を掲載)

○賛成 ・ ×反対 ・ 欠:欠席

議件名	採決結果	伊藤 昇	河野 文彦	高橋 邦雄	河野 淳	山田 誠	野口 周治	斉藤 優香	千葉 圭一	佐々木 修	加藤 進	東 隆一	松田 兼宗	木村 俊広
国民健康保険財政への国庫負担の増額を求める意見書	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	議長

北海道町村議会議長会主催議員研修会(札幌市)

7月8日、札幌コンベンションセンターにおいて北海道町村議会議長会が主催する標記研修会が開催され、議員10名が出席しました。

全道の町村議会議員が一堂に会し、西南学院大学法学部教授勢一智子(せいいち とまこ)氏による「地方議会における議員の多彩化に向けて―地域社会の「鏡」としての議会を考える―」、人口戦略会議副議長増田寛也(ますだ ひろや)氏による「人口減少社会を生き抜くために」というテーマで講演いただきました。勢一氏の講演では、人口減少社会における地方議会の役割や多様な人材の議会への参画、時代に求められる地方議会について、増田氏の講演では、地方創生2.0基本構想の概要や好事例の普遍化に向けて安心して働き暮らせる地方の生活環境の創生、稼ぐ力を高め付加価値創出型の新しい地方経済の創生(地域資源活用、産業基盤)等についてお話いただきました。この講演で学んだことを議員活動に活かしていきます。



議会傍聴しませんか? 一般質問を含む本会議のライブ・録画映像をYouTubeで配信しています。

現在登録者数
426人



北海道森町議会
公式チャンネル



北海道森町議会

検索

本会議当日は、公共施設5カ所
(議会棟ロビー、役所新棟ロビー、
森町公民館、砂原支所、砂原公民館)で
視聴することができます。

チャンネル登録し、新しい動画が公開されると通知を受け取ることもできますので、ぜひチャンネル登録をお願いします。

【訂正】 議会だより第122号(令和7年5月号)5ページ掲載の令和7年第1回森町議会3月会議中、教育委員会委員の任命について、任命された方のお名前に誤りがございましたので次の通り訂正してお詫び申し上げます。 【誤】古川みゆき→【正】古川ゆきみ





町政の **ココ** が聞きたい!!

一般質問 7議員13件

○一般質問とは…

議員が町に事務の執行状況や将来に対する考え方など報告説明を求め、適切な町政運営を進めているかチェックし政策等を議論するものです。
(3・6・9・12月の年4回行っています。)



- ①青葉ヶ丘公園の再整備について
- ②水道の構造物の今後について
- ③森高等学校内に高等支援学校開設について

8 番
千葉 圭一 議員

7P



- ①人口減少の歯止め対策について

6 番
山田 誠 議員

8P



- ①早期にさくらの環境対策に着手を

7 番
斉藤 優香 議員

8P



- ①森町水道事業の持続性と、給水管とメーター口径の不整合問題について

12 番
東 隆一 議員

9P



- ①函館本線(旅客)廃止問題への対応状況について
- ②水産・加工業の不調への支援について
- ③複合施設建設の検討資料の作成状況について
- ④公職選挙の投票支援の実現について

6 番
野口 周治 議員

9・10P



- ①相次ぐ不祥事を取り上げた雑誌記事について

2 番
河野 文彦 議員

10P



- ①自治体業務へのAI技術の活用について
- ②さわら福祉会への財政支援について

13 番
松田 兼宗 議員

11P



問 青葉ヶ丘公園の再整備について

【千葉 圭一 議員】

青葉ヶ丘公園の中にあるオニウシ公園内で子供達が遊べる遊具としては、通称タコ公園にあるだけで、小学校高学年や中学生以上の子供達も遊べる遊具等がないと思います。長寿命化計画に沿いながらも、再整備するに当たっては撤去するものは撤去し、新たな施設等を整備すべきではないでしょうか？青葉ヶ丘公園の敷地内にある道の駅のリニューアルも現在検討中であるならば、道の駅に立ち寄った町外からのご家族、特に子供達も楽しんでもらえるのではないのでしょうか。是非、道の駅のリニューアルを考慮に入れる場合は、オニウシ公園の再整備をすべきだと考えますが町長のお考えをお聞かせください。

答 公園と道の駅を含めた公園整備等々を進める

【岡嶋 町長】

道の駅の再整備というところを今検討しております。公園内にある道の駅というところを十二分に生かして、新たな観光名所という位置づけでブラッシュアップできる要素がたくさんあります。自然豊かな公園を維持して欲しいという声やそこで遊ぶ子供達、遊ばせる親御さん達が安心して公園を楽しんでいただけるように、又多世代にわたって楽しめる、そういった公園と道の駅を含めた公園整備等々をしっかりと進めていかなければならないと思っています。

問 水道の構造物の今後について

【千葉 圭一 議員】

令和6年3月で水道の管路施設及び構造物の耐用年数と耐震性について質問させていただきましたが、町長は森町水道事業水道施設更新計画を令和6年度に改定する予定であり、今後は森町浄水場の新築も視野に入れた更新計画を策定したいと回答しておりました。新たに出来た森町水道事業水道施設更新計画には今後10年間には浄水場等の構造物の耐震化は一切含まれていません。10年後には建築物の耐用年数の60年を迎えてしまう事になります町長のお考えをお聞かせください。又、10年後以上になるのであれば、補強するという考え方で耐用年数を延ばすお考えはないのでしょうか。

答 費用が抑えられるなら補強も検討

【岡嶋 町長】

国土交通省に提出した森町上下水道耐震化計画との整合性を考慮したことから、10年間は管路施設の更新としました。建築物の法定耐用年数は60年とされていますが、浄水場の更新に至るまでの年数は自治体によっては65年から90年以上と広く、それぞれの地域や浄水施設の特性などの様々な条件の影響で差があります。改定した更新計画では、浄水場の更新を令和15年から令和24年までとしていますので、建築物においても早期の耐震化が必要と思いますので、国の補助金対象の拡大等動向を注視しつつ、構造物の更新も併せて進めていきたいと考えています。耐震補強は調査をしなければわからない部分もありますが、費用がなるべく低く抑えられ、かつ短期間でそういった機能強化を達成できるのであれば、そちらのほうを選択していくべきだと思います。

問 森高等学校内に高等支援学校開設について

【千葉 圭一 議員】

令和5年12月に一般質問させていただきました。その時の町長の答弁は、令和8年度までの見通しでは道南地区は学級数、定数とも変更はなく、高等支援学校の開設は難しいと考えているが、北海道教育委員会の考えを聴きつつ、高等支援学校開設の可能性について考えてみたいとのことのお答でした。確かに高等支援学校を設立するのは大変厳しい事は十分に認識しておりますが、地元から離れて苦しんでいる子供達がいます。親御さん達も同様です。何年かかってもいいから地元でそういう支援学校が欲しいという要望があるわけです。北海道教育委員会に対し森町として高等支援学校における色々なアイデアを町長や教育委員会や町民が出し合って働きかけ続けられると思いますが町長のお考えをお聞かせ下さい。

答 継続して今後も働きかけ続ける

【岡嶋 町長】

先日発表された令和8年度公立特別支援学校配置計画案では道南の七飯支援学校及び函館養護学校においてそれぞれ1学級3人減とする方針が示されております。森高等学校に高等支援学校を設置するには、施設の整備や財源確保、専門性の高い教員の確保が必要となるなど、多くの課題が伴うのも事実です。これらのことから、高等支援学校を開設することは非常に難しいという認識ですが、森町に住まう子ども達のためにというところをキーワードにして、私もしっかりと頑張っていきたいと思っておりますし、発信も行っていきたいと思っております。また、情報共有に関してもしっかりと、議会そしてまた町民の皆様にも行ってまいりたいと思っております。

問 人口減少の歯止め対策について

【山田 誠 議員】

森町には空き家が相当数存在しているように思われます。家の回りが草だらけ、屋敷や壁など手入れされていない物件が多数存在しております。又町有住宅や教員住宅、職員住宅、公営住宅等々に相当数の空き家があります。一方北海道空き家情報バンクに登録されている家は僅か3件であります。これらの住宅を若干リフォームをして、町外からの移住者に格安で賃貸するのはいかがでしょうか。又帰省して地元で子育て、親の支援をしたいという方々には無償で貸付し入居期間10年以上の場合は無償で住宅を譲渡する特権を与えるという事で人口減少の歯止めを図ってはどうでしょうか。町に空き家対策を設けて財産の遊休化をせず有効利用しない手はありません。今後の森町の活性化を図るとともに、人口減少の歯止め対策が出来るのではないのでしょうか。町長の所見をお伺いいたします。

答 前向きに考えたい

【岡嶋 町長】

それぞれの課で独立するのではなく、空き家対策をいろんな観点から見てまちづくり、そして人口減少に資する政策に結びつけていけるような、そういった会議体を1つ立ち上げて検討する必要があると改めて感じたので、前向きに考えさせていただきたいです。



問 早期にさくらの環境対策に着手を

【斉藤 優香 議員】

森町最大のイベントであります「さくら祭り」は今年もたくさんの人に来ていただき大変盛況で喜んでいただけたお祭りになりました。

青葉ヶ丘公園には約1500本のさくらがあり、固有種を4品有しており現在新たな固有種の調査も進められてはおりますが、老木化したさくらが目立ちます。

森町の花であるさくらの保全活動を、今、本気で取り組まなければ後世に残すことが出来ないと考えます。

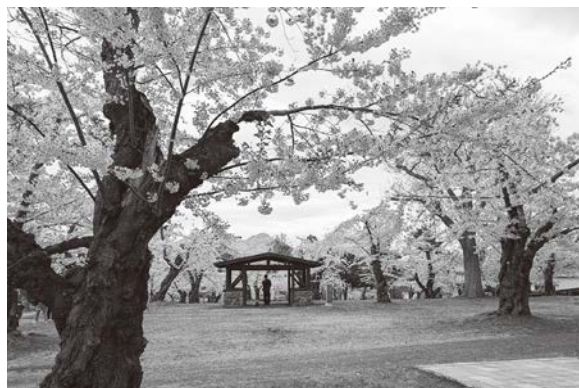
総合的な方針・計画そして実行するために樹木医、造園業者、行政、町民などが参加したチームを作り、さくらの台帳を策定し、個別管理による診断・治療をしてさくらを守ることが町の活性化にも繋がると考えます。

町長の所見をお伺いします。

答 後世につないでいく

【岡嶋 町長】

延命の対策や植え替え等の方針について、現在樹木医と相談しながら検討を進めているところであり、公園管理と桜木管理の担当部所間で情報を共有しているところです。今後につきましては樹木医監修の下、桜保全管理に関する計画の策定を行い、後継樹の育成や管理に取り組みます。



問 森町水道事業の持続性と、給水管とメーター口径の不整合問題について

【東 隆一 議員】

森町では現在上水道事業において町民から給水管の口径が13ミリの管に20ミリのメーターが取り付けられ給水能力が変わらないにもかかわらず料金負担だけが大きくなることに疑問を感じる町民も多くいらっしゃいます。このような運用は森町特有な運用である可能性も示唆されております。近隣市町村に確認したところ給水管に対し不整合なメーターの取付はないとのこと又、日本水道協会に問い合わせたところ森町だけの運用だということでした。これは平成13年から始まった下水道事業供用時から当時の下水道接続工事を申し込まれた町民から接続後水道基本料金が値上げになったと多くの町民から苦情や疑問がありました。そこで伺います。平成13年から現在まで下水道に接続して13ミリの口径に20ミリのメーターがついている件数は何件か。今後町としてこの問題をどのような形で説明を果たしていくのか。

答 この運用で進める

【岡嶋 町長】

給水管の口径が13ミリであるのに20ミリのメーターが設置されている事例件数は公共下水道への接続が開始された平成13年以降がほとんどの為平成13年から令和5年度までの23年間で859件であります。

現在の生活様式の変化に伴って水の使い方、量又それに伴う料金の決め方をしっかり定めなければならない必要性が出てきたのかなと思っています。又、様々な疑問を持っている町民がいらっしゃるのであれば担当課のほうともまた相談させていただいて納得いただけるそういったご相談をさせていただきながら対応させてもらいます。

問 函館本線（旅客）廃止問題への対応状況について

【野口 周治 議員】

新幹線の工期延長には即反応したが、バス転換についてはバス会社が既存路線から撤退するほどの事態でも何も出てきません。対策協議会の渡島ブロック会議などでの議論を説明してください。駅ができる町の首長さえ、並行在来線廃止は考え直したほうが良いと発言されています。森町はどうですか。港湾があっても、コミュニティバスを走らせても、都市間交通がないと町が沈みます。いさりび鉄道を見ても、問題は結局地元には押し付けられる。いいのですか。

答 今夏、ブロック会議がある

【岡嶋 町長】

ブロック会議は一年半、開催されていません。バス転換関連は、今夏の第11回ブロック会議に向け、どういった情報が出るか注視しています。私は、当初から、やる事業者がいなくなったら本末転倒だと、発言しています。アクションを起こすべきだと思います。期成会の緊急要望で、私も発信しました。当町は、噴火湾で唯一港湾があります。歩調を合わせながら、訴えていきたいです。財政的な枠組みも含めて道、国と一緒に革新的な制度を作る姿勢を引き出していきたいです。函館長万部線は、貨物も重要です。次のブロック会議で、示すべきところは示していきたいです。

問 水産・加工業の不調への支援について

【野口 周治 議員】

海況変化で、森町の水産業、水産加工業は苦境にあります。根本的な対応は時間を使って考えるとしても、事業維持や魚種転換などの時間、つまり当面のお金の保障が必要です。町として事業者を支え、また道や国に働きかける方策はどうなっていますか。保険の利用だけでなく、国が天変地異と同じ対応をできないかの議論は行われていますか。原因究明について、道総研の水産は体制が縮小されているのではないですか。必要な調査研究ができるスタッフ、お金は見えてあるのでしょうか。

答 取り組んでいく

【岡嶋 町長】

声は受け取り、たとえば、ホタテの採苗不良で、種をつける仕掛けをつくるのが大変なら意見交換もしました。国、道への要請が必要と判断したら動きます。保険制度で、海水温上昇も天災扱いにできないかとの動きがあります。海水温上昇は非常に重い課題です。原因究明は、国、北海道と連携して、まずは情報共有の体制を深めていければと思います。昔の海を取り戻す様々な事業を官民連携で進め、道、国の支援も引き込めるとしています。事態を、天災における激甚指定と同等のものだと、声を出し続けていくのは非常に有効で、大事だと思います。

問 複合施設建設の検討資料の作成状況について

【野口 周治 議員】

複合施設の基本計画に向け、第1候補地と現在地の比較資料、予算規模に応じて実現可能な機能などの資料の作成について、開示予定を含めて教えてください。

基本計画の策定に間に合いますか。財政シミュレーションはしていますか。建替え対象で、とくに耐震性能と老朽化で継続使用が困難な建物はどれですか。

答 財政試算とともに準備中

【岡嶋 町長】

立地ケースの比較資料は作成中です。予算規模と機能の対応などは、全体規模の圧縮に向けて検討中です。適切なタイミングで開示します。財政シミュレーションは、建物自体をどうするかと、町の財政全体としてと、二つの観点があります。できる限りセットでお示ししたいです。

森町公民館と森町役場本棟は、大規模地震の際には倒壊または崩壊する危険性があり、継続使用は困難です。

問 公職選挙の投票支援の実現について

【野口 周治 議員】

有権者の選挙権を積極的に保障し、投票率も高めるための、参院選での改善計画を教えてください。

答 今回の参院選から改善していく

【岡嶋 町長】

来月の参院選では、尾白内小の閉鎖に伴い投票所を統廃合した地区で、投票所までの移動が困難な方への支援を検討中です。今後は、投票所の設置や運営方法、投票環境の整備などの検討を続け、商業施設等や移動式での期日前投票所など、整備していきます。

問 相次ぐ不祥事を取り上げた雑誌記事について

【河野 文彦 議員】

北海道内情報雑誌にて森町で相次いだ不祥事が取り上げられ、大変不名誉となる事件が記事となり全道へ発信されました。内容としては森町国保病院の診療報酬返還問題と森町職員が建造物へ侵入して逮捕された事件でした。いずれも森町の信頼と評価を著しく下げる事件であり、イメージの悪化も避けられない事態であります。見出しでは、機能しなかった万全の体制、岡嶋町長に問われるガバナンス力と表現され、町民は大きな不安を抱いたのではと史料するところですが、今後必要なことは丁寧な説明と不安を払拭できる対策であります。ガバナンスの意味は多々ありますが、指揮監督、管理と訳するのが適当ではと考え、運営リスクを未然に防ぐための考え方ではと思われますが、それ以前の法令遵守も維持できなかったことは大変遺憾であります。失った信頼を取り戻すことは容易ではありませんが、町民への奉仕者として職務を全うすることを切に願いますので質問します。

答 就任時の宣誓を胸に一層努力する

【岡嶋 町長】

掲載された森町における一連の不祥事について私自身も記事を拝見し、自治体としての責任と信頼回復の必要性を感じております。何れも町行政全体への信頼を揺るがす重大な事案であり、このような事態を招いた背景にはガバナンスやコンプライアンス体制の未徹底があったと認識しており、町民の皆様には不安や失望を与えたことは誠に遺憾であり、多くの住民の皆様が感じておられる不安や疑念を真摯に受け止め、その責任を深く痛感しています。信頼回復へ向けては不祥事の詳細な経緯や原因分析を行い、再発防止策を講じると共に倫理規範やコンプライアンス教育を徹底し自覚と責任感を持って職務遂行できる環境をつくります。自身のガバナンス向上についてですが、その必要性は極めて高いと考えています。自ら率先して規範となり、これまで以上に自己研さんに励み、一時的な取組ではなく、継続的な改善努力を行い、全職員が自覚と責任感を持つ組織文化を醸成します。

問 自治体業務への AI 技術の活用について

【松田 兼宗 議員】

令和5年6月会議において「チャットGPTについて」という事で質問してから2年経過しました。その時町長は、「生成AIを森町の業務で利活用ができるための規則等を制定した上で利活用を検討していきたいと考えております」と答えていますが、この2年間の進展をお知らせください。

森町においては、令和5年4月に策定された森町DX推進計画（令和5年度—令和9年度）において自治体DX推進計画により自治体が取組むべき事項として「自治体のAI・RPAの利用推進」が記載されているにすぎません。

森町における自治体業務へのAI技術の活用に関する現状認識と、具体的な取組みについてお聞かせください。現在、どのような業務でAIが活用されているのか、または導入に向けた検討が進められているのか、具体的にお示しください。

答 本格的な導入に取り組む

【岡嶋 町長】

現在森町における業務へのAIの活用については、管理職限定ではあるが、ガイドラインを定めた上で文章作成や校正、アイデア出し、法制等の解釈補助、会議録要約などにAIを試行実施しているところです。AI技術の導入については、職員のセキュリティ意識やスキル向上も不可欠であり今後は、職員一人一人がAIについて理解を深められる職員研修の実施やガイドラインを定め、さらなるAI技術の試行実施を進めていき、庁内全体で利活用を推進できる環境を整備しつつ、本格的な導入に向けて取り組んでいきます。

人口減少、職員の成り手の不足、産業振興、政策のいろんなものの考えることにもAIは、とても有効だと思うので活用していきたいです。AIが拾ってもらいやすいような情報開示の在り方というのも同時に進めていきます。

問 さわら福祉会への財政支援について

【松田 兼宗 議員】

①「森町社会福祉法人の助成に関する条例」で財政支援するのか。②条例で記載されている必要な書類が提出されているのか。③財政支援、助成の方法としては補助金、貸付金その他の財産を助成などがあるが、補助金としている理由は何か。10億円を超える資産を所有し、明確な統合計画が作成されていない事からすれば貸付金とすべき、如何か。④シャリテ砂原の施設整備形態が「公設民営方式」であったとされるが、一つの社会福祉法人に過ぎないと思うが如何か。⑤行政にとって、「中立性」「公平性」ということは何よりも優先する判断基準であることからすれば、他の法人へも同様の対応をするのか。⑥特養の監督官庁である厚生労働省、北海道の指導・監督の内容は。⑦統合の目的や期待される効果は。⑧社会福祉法人として統合するという考えはあるのか。⑨さくらの園とシャリテ砂原の森町町民の入所者数はそれぞれ何人でしょうか。

答 町直営か地方独立行政法人が選択肢

【岡嶋 町長】

①当該条例にのっとって助成。②予算が確保されていない現時点では申請書等の提出はされてない。③会福祉法人が安定した基盤の下で安心して事業展開できるよう支援することが重要、公益性重視の資金供給手段として補助金制度を採用。④⑤財政支援は単なる資金供給ではなく、あくまで地域住民へ質の高い福祉サービスを持続的、安定的に提供するもの。⑥一般的に厚生労働省は特養に対して直接的に関与することはほとんどない。北海道は特養に対して2年に1度の定期的な運営指導を実施し、施設の運営状況やサービスの質を確認。⑦統合によって地域全体の福祉政策としての機能を維持し、高齢者が安心して生活できる環境を提供することを期待。⑧地方独立行政法人も含めた町立施設では比較的安定した雇用環境を提供。町直営か町が100%を出資する地方独立行政法人の選択肢しかない。⑨さくらの園は49名森町民、シャリテさわらは46名で44名が森町民です。

令和7年 第1回森町議会 6月第2回会議

6月第2回会議が、6月19日に行われました。
決まった主なものは次のとおりです。

補 正

◆令和7年度各会計補正予算

会計別	補正額	総 額	議決の内容
一般会計(第4号)	6,800万円	153億3,189万3千円	原案可決

上記6,800万円の補正予算（社会福祉法人さわら福社会への財政支援）について、8名の議員が討論しました。詳しい内容はQRコードを読み取り、YouTube（ユーチューブ）へアクセスしてご視聴ください。

討 論

反対 3名



松田 兼宗
議員



斉藤 優香
議員



河野 文彦
議員

賛成 5名



高橋 邦雄
議員



山田 誠
議員



野口 周治
議員



河野 淳
議員



千葉 圭一
議員

決 議

◆老人福祉施設等運営に関する調査特別委員会設置決議について

原案
可決

『老人福祉施設等運営に関する調査特別委員会』を設置

議員発議により、老人福祉施設等運営に関する調査特別委員会を設置しました。

これは、老人福祉施設等運営に関する諸事項について調査検討を行うことにより、老人福祉施設等に対し議会の積極的かつ活動的な関与に資するためのものです。

構成委員は12名（議長を除く）で委員長に伊藤昇副議長、副委員長に東隆一総務経済委員長、高橋邦雄民生文教委員長、斉藤優香広報広聴委員長、山田誠議会運営委員長が選出されました。

- 名 称 老人福祉施設等運営に関する調査特別委員会
- 設置根拠 地方自治法第109条及び森町議会委員会条例第5条
- 設置目的 老人福祉施設等運営について、諸事項を調査、検討するため
- 委員定数 12名（議長を除く）
- 活動期間 本特別委員会は、議会の休会中継続して調査を行うことができるものとし、議決の日から議会において調査終了を議決するまで存続する

令和7年第1回森町議会6月第2回会議 賛否一覧

(反対のあった議案を掲載)

○賛成 ・ ×反対 ・ 欠:欠席

議件名	採決結果	伊藤 昇	河野 文彦	高橋 邦雄	河野 淳	山田 誠	野口 周治	斉藤 優香	千葉 圭一	佐々木 修	加藤 進	東 隆一	松田 兼宗	木村 俊広
令和7年度森町一般会計補正予算(第4号)	可決	○	×	○	○	○	○	×	○	○	○	×	×	議長

～各常任委員会の選任～

3月会議で各常任委員会委員に選任後、各常任委員会の専任の結果、次のとおり決定しました。

総務経済常任委員会

【委員長】 東 隆一 【副委員長】 河野 淳
【委員】 河野 文彦 山田 誠 斉藤 優香 松田 兼宗 木村 俊広(辞任)

民生文教常任委員会

【委員長】 高橋 邦雄 【副委員長】 千葉 圭一
【委員】 伊藤 昇 野口 周治 佐々木 修 加藤 進

広報広聴常任委員会

【委員長】 斉藤 優香 【副委員長】 高橋 邦雄
【委員】 委員長、副委員長、議長を除く議員10名

広報広聴小委員会 ※議会だより編集担当

【委員長】 斉藤 優香 【副委員長】 高橋 邦雄
【委員】 伊藤 昇 河野 文彦 河野 淳 野口 周治 千葉 圭一
本号の編集から活動を開始しています。

～運営委員会の選任～

3月会議で議会運営委員会委員に選任後、議会運営委員会の専任の結果、次のとおり決定しました。

議会運営委員会

【委員長】 山田 誠 【副委員長】 千葉 圭一
【委員】 伊藤 昇 河野 文彦 高橋 邦雄 野口 周治 東 隆一

議員報酬改正に係る諮問の申し入れ

議会改革調査特別委員会において議員報酬を審議した結果、増額に決定したため森町特別職報酬等審議会に諮問していただくために7月2日に議長より町長に申し入れを行いました。

※議会改革調査特別委員会は、活性化された地方議会を目指し議員報酬や議員定数を含む、議会の在り方について議員自らが課題抽出を行い調査・研究し、より町民に開かれた議会を目指して議会改革に取り組み行おうとするものです。



議 会 日 誌

令和7年4月18日から令和7年7月17日までの議会の主な活動について、お知らせします。会議の名称は簡略化しています。

令和7年

4月23日 道南林活議連連絡会総会・研修会
(木古内町)

4月24日 議会運営委員会
「4月会議に係る運営」

4月30日 全員協議会
「社会福祉法人さわら福祉会(シャリテさわら)からの要望書について」
4月会議

5月 4日 食KING市

5月 9日 令和7年度森町交通安全運動推進委員会
常任委員会及び定期総会

5月11日 第33回北海道オープンパタンク森大会
第75回北海道植樹祭

5月16日 令和7年度森町さわら商工会通常総会

5月21日 全員協議会
「社会福祉法人さわら福祉会 財政支援補助金について」
「保育所整備工事の進捗状況報告について」
「施設基準等に係る診療報酬の返還について」
「森町葬苑改修工事について」

5月22日 令和7年度渡島総合開発期成会定期総会

5月23日 砂原中学校体育祭

5月27日～28日
令和7年度町村議会議長・副議長研修会

5月29日 令和7年度定時総会
(公益社団法人森町シルバー人材センター)

5月30日 花いっぱい運動(花壇整備)

5月30日 森町立森中学校校内体育大会

5月31日 森町立森小学校大運動会

6月 5日 議会運営委員会
「6月会議に係る運営」

6月 6日 防衛省訪問

6月 8日 令和7年度渡島地方消防総合訓練大会(福島町)
第40回(2025年)「北海道森町ふるりの会」総会

6月10日 北海道町村議会議長会第76回定期総会
渡島町村議会議長会臨時総会

6月12日 全員協議会
「カーナビ付き公用車のNHK受信料未払いについて」

6月12日～13日 6月会議

6月16日 議会運営委員会
「6月第2回会議に係る運営」

6月19日 全員協議会
6月第2回会議
議会改革調査特別委員会

6月22日 令和7年度森町消防訓練大会

6月23日 森町戦没者追悼式

7月 6日 まちかど議会カフェ(食KING市開催時)

7月 8日～9日
北海道町村議会議長会主催議員研修会(札幌市)

7月17日 広報広聴小委員会